

平成27年(2015年)9月の結果 (二人以上の世帯)

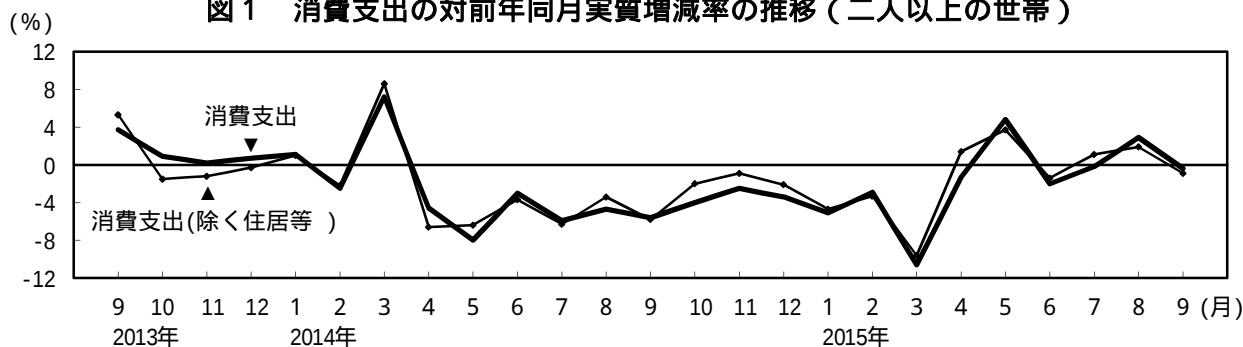
二人以上の世帯

・消費支出は、	1世帯当たり 274,309 円		
前年同月比	実質 0.4%の減少	前月比(季節調整値)	実質 1.3%の減少
	名目 0.3%の減少		
・消費支出(除く住居等)は、	1世帯当たり 235,838 円		
前年同月比	実質 0.9%の減少	前月比(季節調整値)	実質 1.8%の減少
	名目 0.8%の減少		
・勤労者世帯の実収入は、	1世帯当たり 415,467 円		
前年同月比	実質 1.6%の減少		
	名目 1.5%の減少		

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

1 消費支出の推移

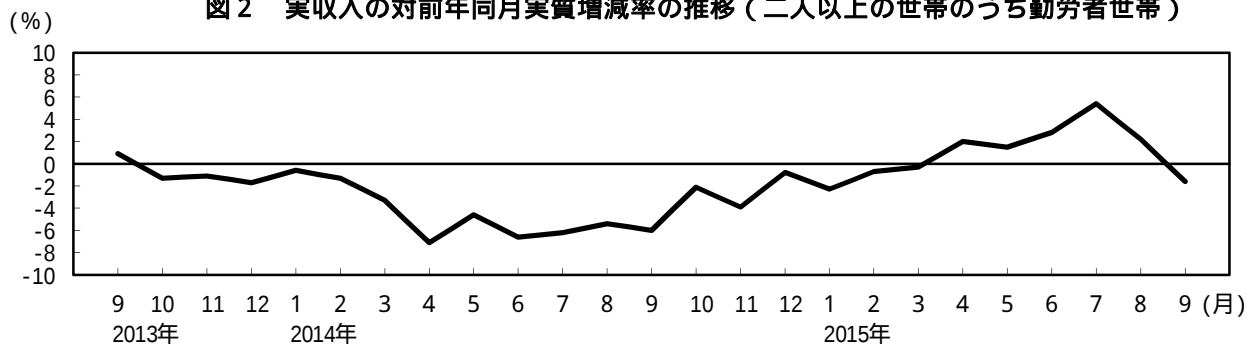
図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	2014年				2015年								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
消費支出	-5.6	-4.0	-2.5	-3.4	-5.1	-2.9	-10.6	-1.3	4.8	-2.0	-0.2	2.9	-0.4
消費支出(除く住居等)	-5.8	-2.0	-0.9	-2.1	-4.7	-3.3	-9.6	1.4	3.7	-1.4	1.1	1.9	-0.9

2 勤労者世帯の収入の推移

図2 実収入の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	2014年				2015年								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実収入	-6.0	-2.1	-3.9	-0.8	-2.3	-0.7	-0.3	2.0	1.5	2.8	5.4	2.2	-1.6
可処分所得	-5.9	-2.4	-3.9	-0.3	-2.5	-0.5	-1.1	2.3	1.5	1.7	5.0	1.8	-1.2
消費支出*	-7.3	-3.4	-1.2	-3.0	-4.3	-3.6	-11.0	0.5	7.5	-1.4	0.7	3.4	-1.7
平均消費性向*	-1.4	-0.8	2.4	-1.3	-1.6	-2.3	-10.7	-1.5	5.5	-1.6	-2.8	1.3	-0.4

*：対前年同月ポイント差

3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2015年9月 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率 へ の 寄 与 度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	274,309	-0.3	-0.4	-		2 か月ぶりの実質減少
食 料	70,440	2.9	0.7	0.18	<増 加> 調理食品,野菜・海藻など	3 か月連続の実質増加
住 居	17,288	12.9	12.2	0.68	<増 加> 設備修繕・維持	2 か月連続の実質増加
光 熱 ・ 水 道	19,072	-6.3	0.9	0.06	<増 加> ガス代	6 か月連続の実質増加
家具・家事用品	9,553	7.5	5.6	0.18	<増 加> 家事サービス,家庭用耐久財など	3 か月連続の実質増加
被 服 及 び 履 物	9,269	1.0	-0.7	-0.02	<減 少> シャツ・セーター類,履物類など	2 か月連続の実質減少
保 健 医 療	11,781	0.3	-0.3	-0.01	<減 少> 保健医療サービス,保健医療用品・器具	2 か月連続の実質減少
交 通 ・ 通 信	40,294	-11.6	-9.0	-1.49	<減 少> 自動車等関係費,通信など	3 か月ぶりの実質減少
教 育	14,168	18.6	16.8	0.73	<増 加> 授業料等	2 か月連続の実質増加
教 養 娛 楽	27,516	-0.2	-2.3	-0.24	<減 少> 教養娯楽用耐久財,書籍・他の印刷物など	3 か月ぶりの実質減少
その他の消費支出	54,928	-2.3	(-2.4)	(-0.48)	<減 少> 諸雑費,こづかい	4 か月連続の実質減少
消 費 支 出 (除 く 住 居 等)	235,838	-0.8	-0.9	-		3 か月ぶりの実質減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 減少項目 >

実質寄与度

自動車等関係費	[-1.18]		自動車購入,自動車整備費
諸雑費	[-0.74]		葬儀関係費,祭具・墓石
通信	[-0.25]		移動電話通信料,固定電話通信料
家賃地代	[-0.20]		民営家賃,給与住宅家賃
補習教育	[-0.20]		幼児・小学校補習教育,中学校補習教育
教養娯楽用耐久財	[-0.12]		パーソナルコンピュータ,カメラ
交通	[-0.09]		鉄道通学定期代,航空運賃

< 増加項目 >

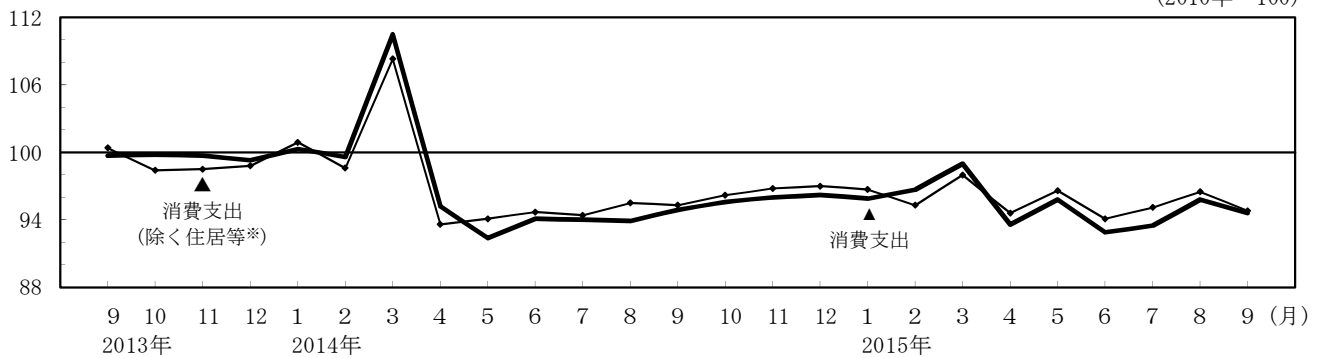
授業料等	[0.92]		私立大学,私立高校
設備修繕・維持	[0.88]		外壁・塀等工事費,設備器具
交際費	[0.26]		贈与金
調理食品	[0.11]		弁当,すし(弁当)

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移（二人以上の世帯）

(2010年=100)



	2014年				2015年								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
消費支出	94.9	95.6	96.0	96.2	95.9	96.7	99.0	93.6	95.8	92.9	93.5	95.8	94.6
対前月変化率(%)	1.1	0.7	0.4	0.2	-0.3	0.8	2.4	-5.5	2.4	-3.0	0.6	2.5	-1.3
消費支出(除く住居等※)	95.3	96.2	96.8	97.0	96.7	95.3	98.0	94.6	96.6	94.1	95.1	96.5	94.8
対前月変化率(%)	-0.2	0.9	0.6	0.2	-0.3	-1.4	2.8	-3.5	2.1	-2.6	1.1	1.5	-1.8

※：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

2 季節調整値は、毎年1月結果公表時に、過去に遡って改定している。

4 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（2015年9月－二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	415,467	-1.5	-1.6	—	6か月ぶりの実質減少
世 帯 主 収 入	343,807	-2.3	-2.4	-1.98	2か月連続の実質減少
定 期 収 入	338,847	-2.3	-2.4	-2.00	2か月連続の実質減少
配 偶 者 の 収 入	56,161	10.2	10.1	1.22	6か月連続の実質増加
他の世帯員収入	5,991	-10.0	-10.1	-0.16	3か月連続の実質減少
非 消 費 支 出	77,369	-3.2	—	—	9か月ぶりの減少
可 処 分 所 得	338,098	-1.1	-1.2	—	6か月ぶりの実質減少
消 費 支 出	298,733	-1.6	-1.7	—	3か月ぶりの実質減少
平均消費性向(%)	88.4	(前年同月) (ポイント差) 88.8 -0.4			季節調整値でみると、74.6%で、前月に比べ、0.3ポイントの上昇となった。

注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入、社会保障給付、財産収入などが含まれる。